

令和5年度第1回

6次産業化・地産地消推進協議会

令和6年3月22日（金）

幕別町役場2階2AB会議室

議 事 録

幕別町経済部農林課農政係

令和5年度第1回
6次産業化・地産地消推進協議会

議事日程

(令和6年3月22日(金)午後2時00分開会)

1 開 会

2 議 件

(1) 議案第1号 幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について

3 その他

4 閉 会

議 事 録

令和5年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会

- 1 日 時 令和6年3月22日（金）午後2時00分～午後3時00分
- 2 場 所 幕別町役場2階2AB会議室
- 3 出席者 （14名）安部 史郎、佐瀬 一文、池田 英樹、三島 均、藤原 昇
折笠 健、小笠原 保、岩谷 史人、笹村 直弥、市川 宏
勝井 光徳、高橋 修二、西嶋 慎、守屋 敦史
- 4 欠席者 （4名）山下 貴廣、田中 洋人、牛腸 健司、半田 健
- 5 事務局 農政係長 密岡 遼一、
農政係主査 高田 麻菜美、 竹中 聡

議 事 の 経 過

(14：00開会)

(高田主査)

定刻となりましたので、これより、令和5年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会を開会いたします。

私、協議会の事務局であります農林課農政係主査の高田と申します。

よろしくお願いいたします。

本日、山下委員、田中委員、半田委員から欠席のご連絡を受けております。なお、牛腸委員からも欠席の連絡を受けておりますが、本日は代理として齊藤様が出席いただいております。

それでは、はじめに、協議会の会長であります岩谷^{いわたに}会長に一言ご挨拶をいただきたいと思います。

(岩谷会長)

令和5年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公私共にご多忙のなか、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

「6次産業化」は、例えば、1次産業を担う農業者が加工から販売までを手掛けることで、生産物の付加価値向上だけでなく農業者の所得向上が期待される取組で、本協議会では、こうした6次産業化に限らず、農商工連携を推進し、地域資源を生かした独自の価値を創出し、地産地消や地域ブランドの確立に向けた取組を実現するため、農業を核とした産業間の連携を強めて、地域全体の産業の活性化を図ることを目標としております。

本日は、農業協同組合、商工会、6次産業化などに取り組む農業者や事業者、金融機関、行政など、様々な立場の方が一堂に会して行う、貴重な会議でありますので、委員の皆様のご忌憚のないご意見を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 高田)

ありがとうございました。それでは、今後の進行は、岩谷会長にお願いいたします。

(岩谷会長)

それでは、議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

(事務局 密岡)

議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」ご説明申し上げます。

議案説明資料の1ページと参考資料1の「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」をあわせてご覧ください。

はじめに、「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」、いわゆる市町村戦略について簡単にご説明申し上げます。

市町村戦略の1ページ中段に記載してありますが、市町村戦略は、国内だけでなく、国際的に産地間競争が激しくなっている背景を踏まえ、「地域資源を生かした独自の価値を発信していく取組」と、安全で良質な農畜産物等を安定的に供給し、その競争力をさらに高めていくために、「地産地消や地域ブランドの確立に向けた取組」といった目標を具体的に実現するための方策を明確にし、農業を核として産業間での連携を強め、地域全体の活性化を図ることを目的とした方策を示すもので、平成30年度に開催した本協議会を経て、平成31年3月に策定しております。

次に、市町村戦略の2ページになりますが、市町村戦略の計画期間は、令和元年度から5年間の計画であり、今年度が最終年度となります。

市町村戦略の推進体制と進行管理として、市町村戦略を確実に推進するため、例年3月に開催する本協議会において、実施状況を検証し、必要に応じて内容を見直すことでより実効性を高め、期間内に成果目標を確実に達成することを目指すこととなっております。

次に、幕別町の重点を図るべき農畜産物として、市町村戦略の7ページから8ページまでに記載してありますが、7ページ上段から、和稔じよ、インカのめざめ、ゆり根、8ページの有機JAS認定農産物、十勝ロイヤル・マンガリツツア豚、どろぶた、シュベービッシュ・ハル豚の7品目を定めております。

現状と課題を踏まえた6次産業化等の推進方策については、市町村戦略の9ページから10ページまでに記載してありますが、人材育成や6次産業化・農商工連携の促進、地産地消の推進、食農教育・食育活動の推進、そして、販路の拡大、地域ぐるみの新商品開発プロジェクト、有機JAS認証農産物及び加工品の7つの方策を市町村戦略に掲げておりま

す。

次に、6次産業化等の成果目標について、検証の結果をご説明申し上げます。

議案説明資料の1ページをご覧ください。

「5 6次産業化等の成果目標」であります。はじめに、(1)幕別町におけるグリーンツーリズム施設等の交流人口と観光プランについて、①年間交流人口は、人数の把握が出来る観光施設として、道の駅・忠類、アルコ236、ナウマン象記念館の令和4年度の入込客数を集計しております。令和4年度実績は、過去2年度と同様に目標値を大きく下回っておりますが、これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光施設の入込客数が低調であったことが原因であります。

また、②農泊受入れ戸数についてであります。令和5年度実績は2戸で令和4年度実績と比較しても大きく減少していますが、これも、約3年間新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことにより、農村ホームステイ等の希望者は回復傾向にあったものの、農家さん側の受入れ体制が整っていなかったことが主な理由であります。

③の観光プランの累計件数についても、前年度実績と同様に5件と目標値を下回っている状況であります。

次に、(2)幕別町における新商品開発取組事業所等の件数ですが、令和5年度実績は7件と、新規の案件はなかったことから目標値には達しておりませんが、町への相談は2件あったところであり、新商品開発に取り組む意欲的な事業所等は着実に増えているものと思われま。そのほかにも、今後、企業誘致による新商品の開発が見込まれることから、引き続き、新たな特産品の開発及び販売を促進し、これらの情報発信をすることで新商品を開発する事業所や経営体を支援してまいります。

議案説明資料の2ページをご覧ください。

(3)幕別町における加工施設等の新設件数と一般労働者の雇用創出数についてですが、令和元年度に国の「食料産業・6次産業化交付金」を活用し、有限会社ベルセゾンファームが有機JAS認証農産物を使用した加工施設を整備しておりますが、その後は加工施設等の新設はなく、引き続き、情報収集の強化を図り、企業誘致の実現と既存企業の育成支援に努めることとしております。

また、一般労働者の雇用創出については、一部の加工品の製造を令和2年度から開始しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、他の加工品の製造が遅れており、本格的に稼働しており、その製造状況に合わせて、令和5年度には正規社員1人、季節パート

3人の雇用の創出がありました。通年パート及び季節パートについては目標未達成となりましたが、引き続き、商品開発を推し進め、目標達成を図ります。

次に、(4)幕別町における農業者等の総合化事業計画の認定件数につきましては、新たに計画作成するには至らず、目標の5件は達成できませんでした。

(5)加工製品の原材料となる農産物の作付面積の増加の効果についてであります、一つ目の◎重点を図るべき農畜産物の作付面積につきましては、和稔じよは現在種子の生産段階であることから実績は0となっておりますが、インカのめざめは、JA幕別町において、令和元年度から加工品の製造を開始したことから、順調に作付面積が拡大し、令和5年度には大きく目標を上回る結果となりました。

二つ目の◎有機JAS認証農産物の作付面積で加工品群の原材料となる分の面積につきましては、④ミニトマトの作付面積が昨年度に続き、目標値を上回っておりますが、先程ご説明したバルセゾンファームの加工施設で一部の加工品の製造がいまだ開始していないことから、その他の作物については目標値を下回る結果となりました。これらの作物については、現在商品開発中ですので、引き続き作付面積の拡大と合わせて取り組んでいくこととしております。

なお、参考資料3として、有限会社バルセゾンファームの食料産業・6次産業化交付金に係る実施状況報告書より、加工品9品目の開発までの進捗状況を掲載しております。昨年度御報告したのものから特段大きな変更点はございませんが、⑦蒸し豆及び⑧ソイミルクジャムについては、当初の事業計画から遅れがでており、令和6年12月を目途に開発を完了する予定で進めております。

次に、下の表の令和4年度実績に係る事業実施状況の点検結果及び評価といたしまして、北海道については、「オンライン商談への参加により新規販路の拡大に繋がったが、目標とする売上げに対しては厳しい状況である。今後もさらに販路を拡大し、事業目標達成に向けて取り組んでもらいたい。」としており、農政事務所については、「目標達成率が低いので、北海道6次産業化サポートセンターの活用や中小企業診断士等による経営指導により、要因の分析、推進体制や施設の利用計画の見直し等を行い、目標年度に目標達成できるよう、引き続き進捗状況を確認した上で適時指導されたい。」と評価しているところがあります。

本協議会においても、毎年、成果目標の点検及び評価を行うとしておりますが、事務局としては、北海道の評価と同様に、早期の事業目標達成に向けて取り組むこととして評価

をしたいと考えております。

以上で「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

(岩谷会長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑・応答なし】

(岩谷会長)

質疑がないようですので、議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

(岩谷会長)

異議がないようですので、議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」は、原案のとおり決定いたしました。

(岩谷会長)

次に、「3 その他」であります。事務局から何かありますか。

(事務局 密岡)

「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」の計画期間が令和5年度までの5年間の計画となっていることから、昨年度の会議の際には、今年度に次期計画の策定作業を行う旨お伝えしたところでしたが、その後、6次産業化に係る国補助事業の要望がなかったことを踏まえて、次期計画は作成しないこととしたいと考えております。他方で、本戦略の目的である「地域資源を生かした独自の価値を発信していく取組」や「地産地消や地域ブランドの確立に向けた取組」については引き続き推進していく方針であることから、本協議会の開催は一度、今回が最後となりますが、委員の皆様には今後とも御助力をいただきますようお願いいたします。

以上となります。

(岩谷会長)

皆様方から何かございませんでしょうか。

【質疑・応答なし】

(岩谷会長)

それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会を閉会いたします。お疲れさまです。